



加悦高 ニュースレター



令和元年度 第3号(7月)

題字：加悦高書道部 作

生徒指導部長のあいさつ



中高生のみなさん。苦手なことってありますか？ありますよね。それを10秒くらいで思い浮かべてみてください。英語？数学？暗記？スポーツ？早起き？整理整頓？友人関係？この夏、その苦手なことちよっと勇気を出して取り組んでみませんか？1日15分程度から始めてみませんか？毎日忙しくても、それくらいの時間なら取れますよね。最初の3日間はかなり苦痛かもしれません。苦手なことなんですから。でもここでやめたら3日坊主。何とか踏ん張って1週間続けてみましょう。そしたら少しリズムが出てくるはずですよ。「よし、今日も15分！」って。2週間(半月)続いたらちよっとプライドが出てくるかも。「ここでやめたらもったいない」「折角続けたんだから」など。3週間目からは時間を5分増やすとか、15分の質を上げるなどしてみましょう。もし、ひと夏(5週間)続いたら、それはもう嫌でも苦手でなくなっています。なぜなら、ひと夏毎日続けたんですから。

中高生の皆さん。思い浮かべてみてください。苦手なことが得意になった自分の姿を。ワクワクしませんか？楽しくなってきましたか？この夏、克服したいことを毎日15分。そして長くも多くないう青春時代の夏休み。今年こそ人生のターニングポイントとなる夏にしてください。

■ ボランティア活動で加悦高生大活躍！～TANTANロングライド～

毎年、丹後・中丹地域ではTANTANロングライドと呼ばれるサイクリングイベントが行われています。本校生徒も3年ほど前からボランティアスタッフとしてイベントに参加しています。生徒たちの役割は、休憩所でドリンクや食べ物の提供や、チェックポイント通過証明のシール貼りでした。ボランティア活動を通じて、「てっぼう」と呼ばれる与謝野町岩滝の名物の握り飯のことを知ることができたり、ただ待っているだけでなく、自ら積極的に参加者の方々に働きかけることで、人の輪が広がっていくことを体感・実感していました。その結果として、3,000個用意されたてっぼうはすべてなくなり、大盛況のうちに終了しました。

生徒たちは1,500人以上の参加者を相手に、5時間以上作業をしていましたが、充実した時間だったようで、「疲れたけど、楽しかった。」「自分から進んで話しかけることができ、沢山のひとたちと話すことができた。」とロク々に言っていました。

生徒たちは、他にも様々なボランティアに参加しており、いろいろな経験を重ねています。町で見かけましたら、ぜひ温かく見守ってください。

また、詳細はHPの「学校生活」にも掲載しています。ぜひご覧ください。



写真) 上から: チェックポイント通過証明シール貼り、てっぼう支給、ドリンク支給(右下)、てっぼう(左下)



■ 発展途上国の子どもたちに～文房具とペットボトルの回収にご協力ください～



集まった鉛筆の集計をする生徒会執行部員

生徒会では、毎年テーマを設けて、ボランティア活動を行っています。今年は【海外途上国の子どもたちのために、文房具を寄付する】ことに取り組んでいます。5月より全校生徒に使わなくなった鉛筆やノートの寄付を呼びかけ、6月には、目標としていた500本を超える550本の鉛筆を集めることができました。今は、新たな目標として1,000本に設定し、一段と熱を入れて取り組んでいます。



写真) 左: 回収された鉛筆(目標本数: 1,000本)



右: 回収されたペットボトル(目標回収量: 40袋)

また、文房具を支援国へ送るための送料を、ペットボトル回収で得られる収益から賄う予定にしています。全校生徒、教職員だけでなく、**地域の皆様からの持ち込みも受け付けています。**家に不要な文房具やペットボトルがある方は、ぜひ生徒会に御連絡ください。

※鉛筆は削られていても構いません。



京都府立加悦谷高等学校

京都府与謝郡与謝野町字三河内810

電話：0772-42-2171

FAX：0772-42-2172

電子メール：

kayadani-hs@kyoto-be.ne.jp

加悦高 キャッチフレーズ

3つのシン【真、信、伸】

- 真剣で真の教育
- 信頼関係にもとづく教育
- 伸ばす教育

Topics!

【PTAきもの着付け教室】

6月19日に、PTA主催のきもの着付け教室が行われました。30年以上続く行事で、今回は30名以上の生徒が参加しました。



生徒たちの学校生活なども更新中!

Web サイトもご覧ください
<https://www.kyoto-be.ne.jp/kayadani-hs/>

QRコード⇒



■ 放課後も教職員が生徒の要望に応え、個別指導を行います。

本校では、考査前はもちろんのこと、通常授業日のときでも、教科を問わず、多くの生徒が積極的に質問をするために職員室を訪れます。教員も、生徒の熱意に応え、生徒の疑問点が解消されるまでとことん付き合うので、「なるほど! そういうことか!」と、生徒はすっきりとした表情で帰っていきます。どんな些細なことでも質問ができるのは、教員と生徒の間に質問しやすい関係が築かれているからであり、生徒が安心して勉強に取り組むことに繋がっています。

本校にはどのような教員がいるのか。どのような授業や部活動を行っているのか。学校生活を体験できる体験セミナーが、

体験セミナー

- ・実施日 令和元年8月2日(金)
- ・場所 京都府立加悦谷高等学校
- ・時間 午前8時30分受付開始

8月2日(金)に開催されます。中学生の皆さん、ぜひ、お越しください!

※お申し込みは中学校の担任の先生を通じてお願いします。また、保護者の方の御参加も受け付けています。



生徒(右)の質問に対応する教員(左)

■ 【地域交流①】三河内小学校児童たちにトレーニング指導!



児童にスポーツ指導をする生徒たち

6月20日(木)、与謝野町立三河内小学校にアスリートスポーツコースの3年生12名が与謝野町立三河内小学校の児童27名を対象に、スポーツ交流会を行い、トレーニング指導をしました。

実施するトレーニングメニューから、交流会の流れや構成をすべて自分たちでイチから考え、当日に向けて何度も練習を重ねて当日を迎えました。

【自分が小学生だったときのことを思い出して、相手の気持ちになって小学生に接する】

ことを意識して、児童にトレーニング指導を行いました。どの児童も楽しかったようで、名残惜しそうに体育館を後にしていました。準備で想定していなかったタイマーのトラブルにも迅速に対応したり、恥ずかしがって中々前に出ない児童に対してもそっと手を差し伸べて誘導するといった臨機応変さもみられました。

次回のスポーツ交流会は、今回感じた課題をクリアして、さらに良いものにしていきます。

※交流会の詳細な様子は本校HPの「教育活動・普通科アスリートスポーツ」に掲載しています。

■ 【地域交流②】地域のお母様と赤ちゃんが来校!

与謝野町の特定非営利法人まるっと丹育のスタッフの皆様にご協力いただき 地域のお母様と赤ちゃんに来校していただきました。これは子育て学習プログラムの一環として、家庭科の授業で実施したものです。

赤ちゃん人形による抱っこ練習に始まり、赤ちゃんとの交流・お母様へのインタビューと、お母様と赤ちゃんとのふれあいをおして、自分の未来を想像するきっかけや、生命の大切さを学習する機会になりました。

本校として、初めての取り組みでしたが、「話をしっかり聞いてもらえて嬉しかった」「地元のお兄ちゃんお姉ちゃんたちとふれあうことが出来てよかった」「子どももたくさん遊んでもらって楽しそうだった」と、お母様方から御感想をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。

※子育て学習プログラムの詳しい様子はHPの「学校生活」に掲載しています。



お母さんや赤ちゃんと交流をする生徒たち